

平成19年度食品安全委員会運営計画のこれまでの実施状況のポイント(未定稿)

平成19年4月1日から平成20年1月31日までの取組

(1) 委員会の計画的な運営 ・運営計画に基づき委員会会合を40回、専門調査会の会合を合計138回開催

(2) 食品健康影響評価の実施

- 食品健康影響評価に関するガイドラインの策定
「遺伝子組換え微生物を利用して製造された食品」、「農薬、動物用医薬品、飼料添加物」、「食品添加物」等について、策定に向けた作業を進めているところ
- 委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の定期的な点検・検討
＜食中毒原因微生物に関する食品健康影響評価＞
意見交換会の結果等を踏まえ、鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ／コリから調査審議を進めることとし、現在、微生物・ウイルス専門調査会の下に設置したワーキンググループにおいて調査審議を行っているところ
＜我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価＞
意見交換会の結果等を踏まえ、自ら評価を実施することを決定し、19年8月に評価対象国14ヶ国へ質問書を発出
＜食品（器具・容器包装を含む）中の鉛に関する食品健康影響評価＞
企画専門調査会において候補案件として選定され、委員会に報告。委員会で審議した結果、意見交換会を行った上で、実施について決定することとされた。
- リスク管理機関から食品健康影響評価を求められている案件の着実な実施
＜平成19年度＞リスク管理機関からの評価依頼件数 168件
評価を終了した案件数 174件
- 食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査
食品健康影響評価結果について、平成18年10月から19年3月までの間に通知した評価品目等の調査結果を19年10月に報告するとともに19年4月から9月までに通知した評価品目等の調査を実施予定
- 食品健康影響評価技術研究の推進
＜平成19年度研究事業＞4研究領域9課題を採択
＜平成20年度研究事業＞4研究領域決定

(3) リスクコミュニケーションの促進

- 意見交換会等の開催
25回開催（我が国に輸入される牛肉等、食中毒原因微生物 等）
- リスクコミュニケーション推進事業の実施
地域の指導者育成講座 9回開催
リスクコミュニケーター育成講座 9回開催
- 全国食品安全連絡会議の開催
11月21日に開催
- 食品安全モニターの活動(470名)
随時報告〇〇〇件受付（※2/1入力）
課題報告 1回実施
モニター会議 10回開催
- 情報の提供・相談等の実施
・ホームページの運営、メールマガジンの配信、季刊誌「食品安全」の発行、DVDの作成等による情報提供
・食の安全ダイヤル
731件(H20.1.23現在)の問い合わせ等を受付、FAQを作成し、公表
- リスクコミュニケーションに係る事務の調整
関係府省リスクコミュニケーション担当者会議を20回開催
- 食育の推進への貢献
8月にジュニア食品安全委員会を開催

(4) 緊急の事態への対処

- 緊急時訓練の開催
机上シミュレーション
(19年12月実施)

実働訓練
(20年2月実施予定)
- 事後検証並びに緊急時対応要綱及び指針の見直し
・緊急時対応専門調査会において、平成18年度緊急時対応訓練について検証を実施
・事務局内における事務作業手順書を作成

(5) 食品の安全性の確保に関する情報の収集、整理及び活用

- 最新かつ正確な食品安全情報の迅速な収集と提供
食品安全総合情報システムによる情報収集と提供
- 国際会議等への参加
国際会議等への委員等の派遣（23回）、海外研究者等の招へい（5回）
海外への情報発信（食品健康影響評価結果の英訳、英語版ホームページの充実）

(6) 食品の安全性の確保に関する調査

- リスク評価等の事務を行うために必要な食品に係る様々な危害要因に関するデータの収集
12月までに15課題を調査課題として選定し、10課題について調査を開始